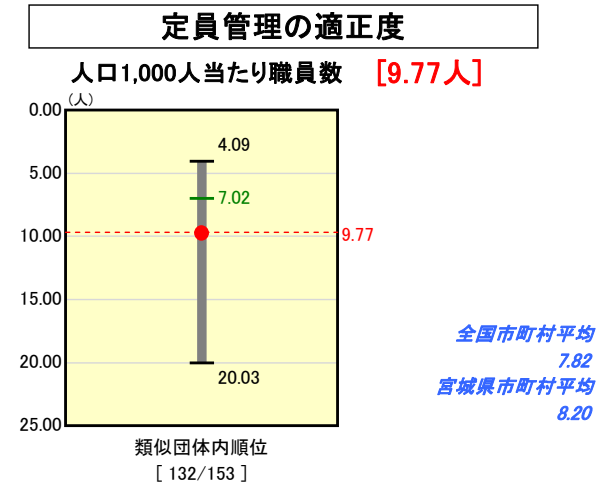
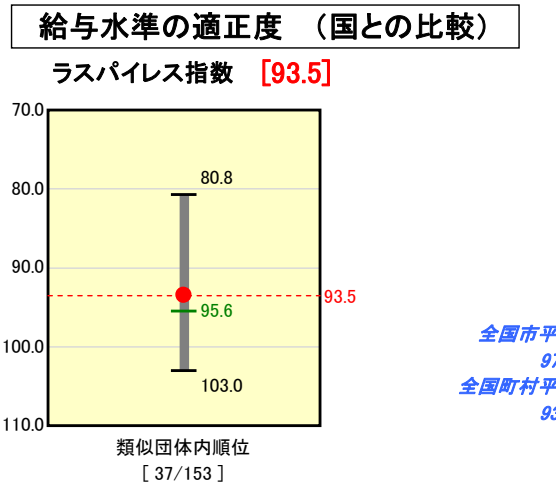
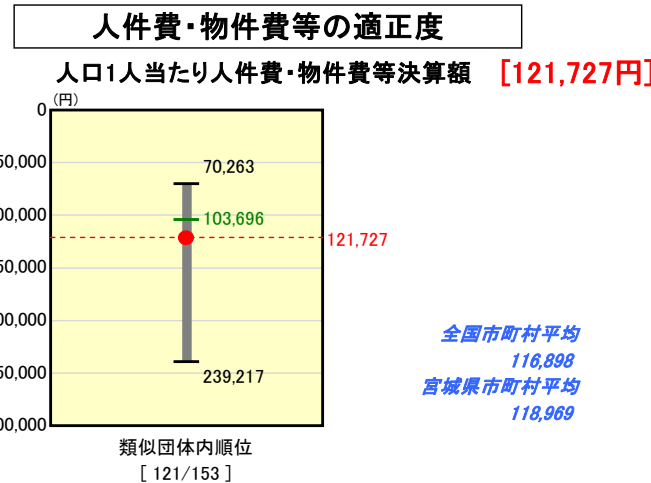
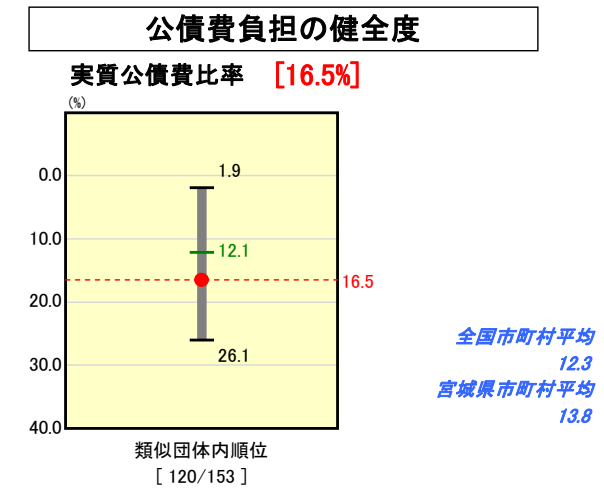
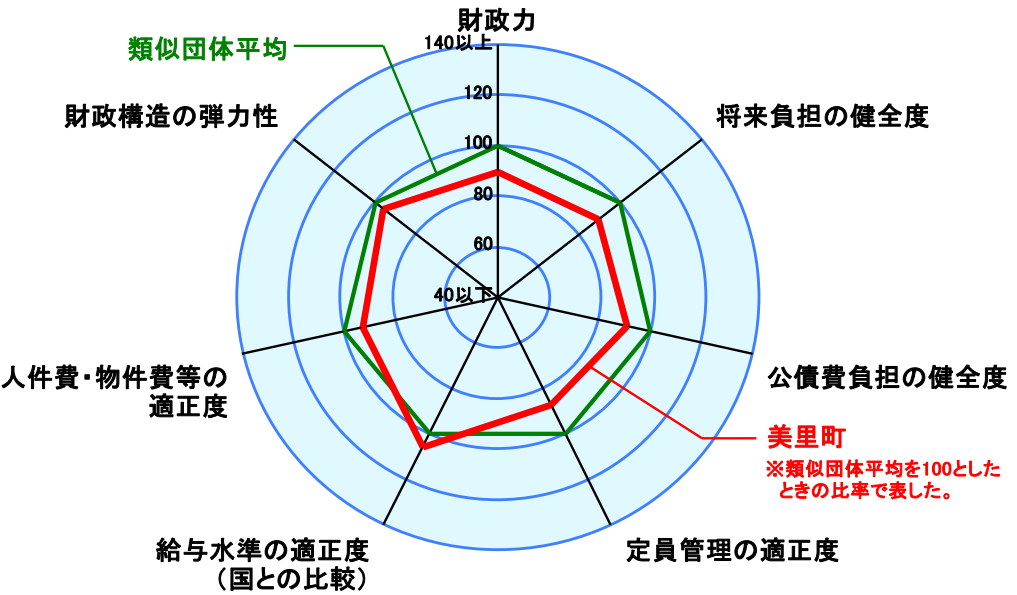
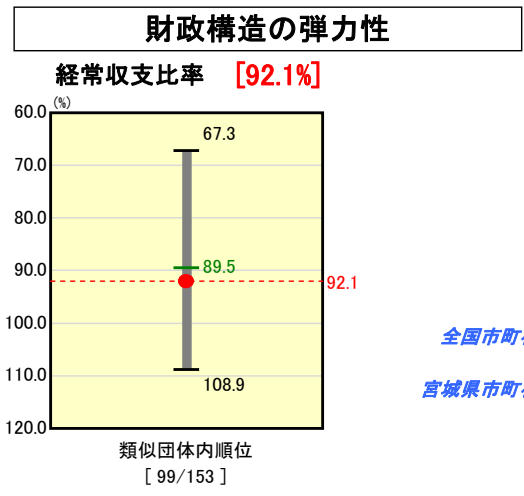
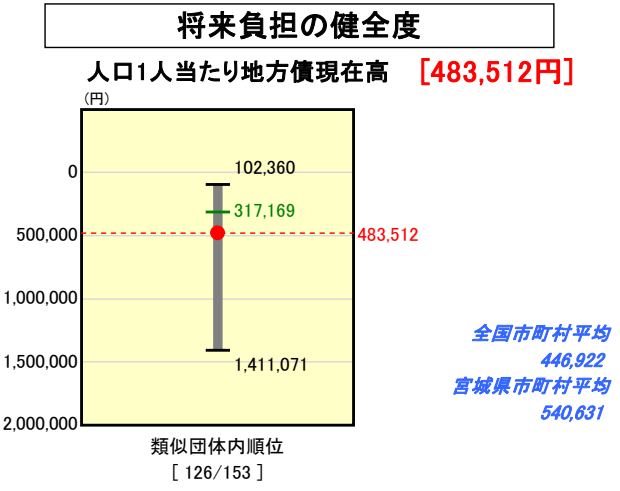
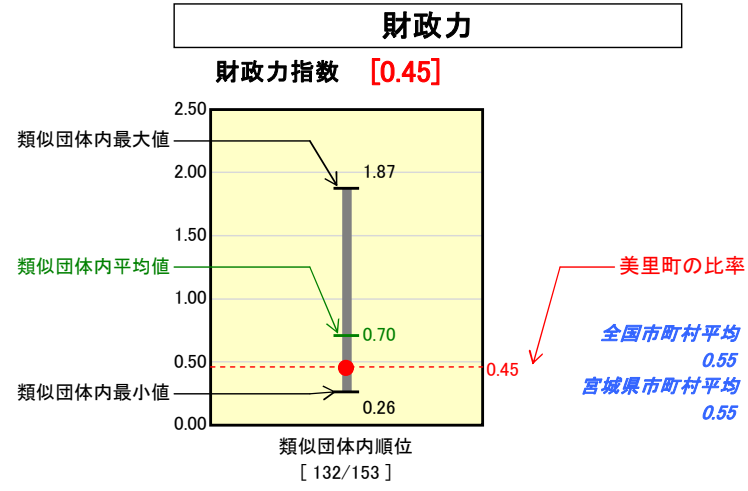


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 宮城県 美里町

人口	26,091人	(H20.3.31現在)
面積	75.06	km <sup>2</sup>
歳入総額	9,571,455	千円
歳出総額	9,433,043	千円
実質収支	132,899	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 財政力指数
  - ・景気低迷による減収などから類似団体を下回っているが、近年は微増傾向にある。今後も町税の徴収強化(平成21年度より徴収対策課を設置する。)に努め、さらに企業誘致を進めることにより収支の増に努める。
- 経常収支比率
  - ・前年に比べ人件費や補助費等の割合は減少傾向にあるものの、扶助費や公債費、繰出金の割合が増加傾向にあることから、類似団体よりも経常収支比率が高くなっている。財政健全化計画を踏まえ、中長期的視点に立った計画的かつ健全な財政運営を行う。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額
  - ・人口1人当たりの物件費は類似団体よりも低いものの、人件費が類似団体を上回っている。これは、主として教育に重点をおいた政策を行ってきたことにより、特に教育費に占める人件費の割合が大きいためである。定員適正化計画及び集中改革プランを踏まえ、各種施設の指定管理者制度の検討をするなど、人件費の総額抑制に努める。
- ラスパイレス指数
  - ・H18.4からの給与構造の見直しにより、類似団体平均を下回っている。引き続き一層の適正化を目指す。
- 人口1人当たり地方債現在高
  - ・投資的負債の現在高は減少傾向にあるものの、臨時財政対策債が増加しているため、類似団体平均を上回っている。財政健全化計画を踏まえながら、投資的負債の見直しにより投資的負債を計画的に発行するとともに、徴収強化を行い、財源不足を解消するよう努め、適正な財政運営に努める。
- 実質公債費比率
  - ・平成23年度をピークに減少に転ずる見込であるが、今後、合併特例事業債の発行が見込まれるため、財政健全化計画を踏まえながら、新町建設計画における投資的負債の実施年度の見直しを図り、平準化に努める。
- 人口1,000人当たり職員数
  - ・合併に伴い類似団体平均より上回っている。また、教育に重点をおいた政策を行ってきたことにより、特に教育に従事する職員数が多いことも要因のひとつである。定員適正化計画に基づく職員定数の削減(平成24年度までに20%削減)を行うとともに、組織機構の見直し及び指定管理者制度の検討を行い、職員配置の効率化に努める。